

消化器外科 I に、通院・入院されたことがある患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

肝細胞癌治療後肺転移再発に対する外科的治療の予後および再発予測因子の検討

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院消化器外科 I 教授 武富 紹信

[研究の目的]

肝細胞癌治療後に肺転移再発した症例において、腫瘍マーカーや臨床病理学的因子を確認することで、転移巣切除が他の治療法よりも有用であるか確認し、あわせて予後および再発予測因子を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

1987年1月1日から2021年12月31日までの期間に北海道大学病院消化器外科 I に通院または入院し、肝細胞癌治療後肺転移再発に対して外科的治療（肺転移巣切除）を受けた成人患者さん。

○利用するカルテ情報

- ① 患者基本情報：年齢、性別、病歴、診断名、治療歴、生活歴、Performance Status
- ② 疾患情報：治療内容、手術部位、術後合併症、入院期間、再発、予後
- ③ 血液生化学的検査結果：ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数、ビリルビン、総蛋白、アルブミン、AST、ALT、ALP、LDH、BUN、クレアチニン、Na、K、Cl、腫瘍マーカー(AFP、PIVKA-II、CEA、CA19-9等)、ICG負荷試験値、感染症マーカー(HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体、HCV抗体、HIV抗体、HTLV-1抗体)
- ④ 画像検査結果：CT、MRI、エコー、レントゲン写真、PET-CT
- ⑤ 病理検査結果：大きさ、脈管侵襲の有無、組織型、分化度、背景肝の評価結果(炎症の程度、脂肪化の程度、線維化の程度)

[研究実施期間] 実施許可日～2027年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器外科 I 担当医師 相山 健

電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515